

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平6-85016

(43) 公開日 平成6年(1994)12月6日

(51) Int.Cl.⁵

B 0 1 D 46/02

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 7446-4D

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願平5-25514

(22) 出願日 平成5年(1993)5月17日

(71) 出願人 000165974

古河機械金属株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目6番1号

(72) 考案者 名塚 龍己

栃木県下都賀郡国分寺町駅東3-3-9

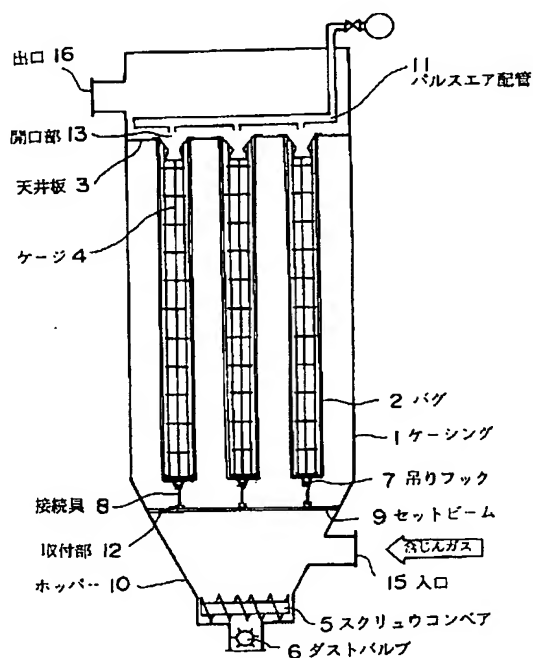
(74) 代理人 弁理士 森 哲也 (外2名)

(54) 【考案の名称】 バグフィルタのバグ取付構造

(57) 【要約】

【目的】 バグの磨耗による早期破損を防止して耐久性を向上させ、バグの交換を省力化し安全で能率よく行なえるようにする。

【構成】 ケーシング1内に複数のバグ2を吊設したバグフィルタにおいて、バグ2の底面に吊りフック7を設けると共に、所定間隔で取付部12を形成したセットビーム9をバグ2の下方に設け、セットビーム9の取付部12に吊りフック7を接続具8で取付ける



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ケーシング内に複数のバグを吊設したバグフィルタにおいて、バグの底面に吊りフックを設けると共に、所定間隔で取付部を形成したセットビームをバグの下方に設け、該セットビームの取付部に前記吊りフックを接続具で取付けることを特徴とするバグフィルタのバグ取付構造。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例であるパルスジェット式バグフィルタの構成を示す説明図である。

【図2】 バグの下端部の断面図である。

【図3】 吊りフックとセットビームの取付状態を示す正面図である。

【図4】 吊りフックとセットビームの取付状態を示す側面図である。

* 面図である。

【図5】 バグの交換作業の説明図である。

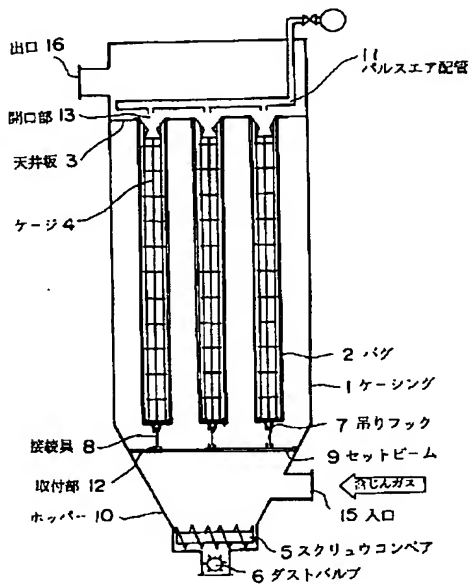
【図6】 従来のバグフィルタの構成を示す説明図である。

【図7】 従来のバグフィルタのバグの交換作業の説明図である。

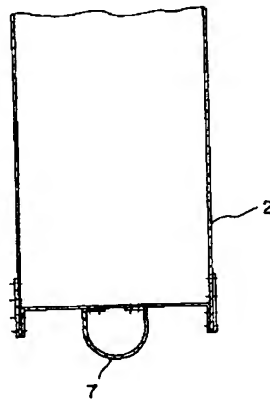
【符号の説明】

- | | |
|---|--------|
| 1 | ケーシング |
| 2 | バグ |
| 3 | 天井板 |
| 4 | ケージ |
| 7 | 吊りフック |
| 8 | 接続具 |
| 9 | セットビーム |

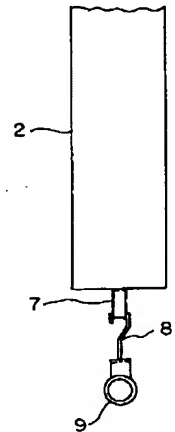
【図1】



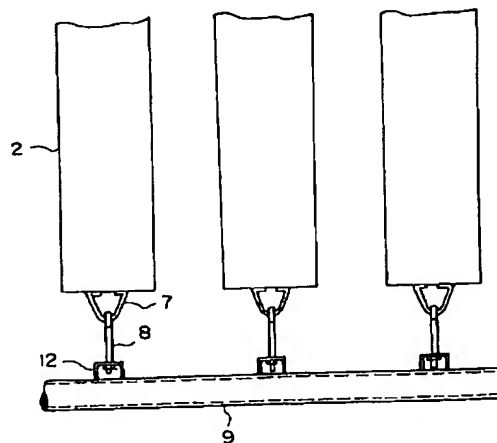
【図2】



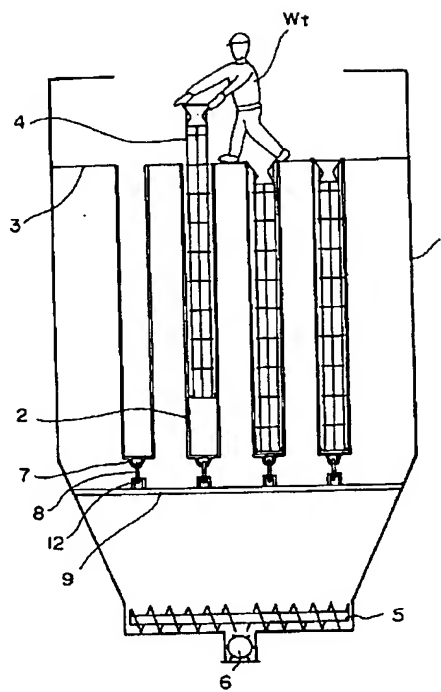
【図4】



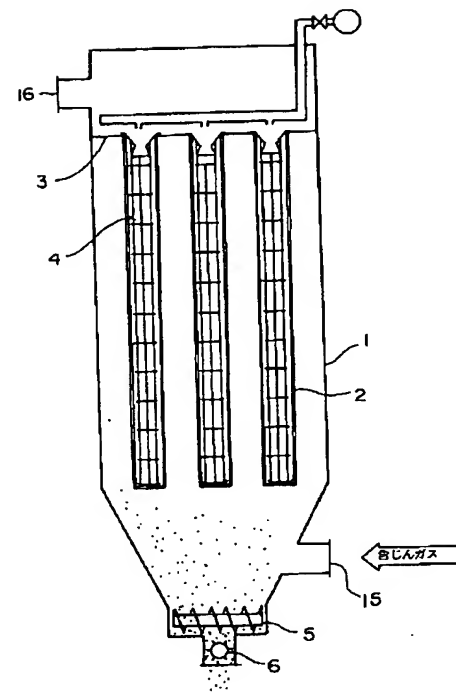
【図3】



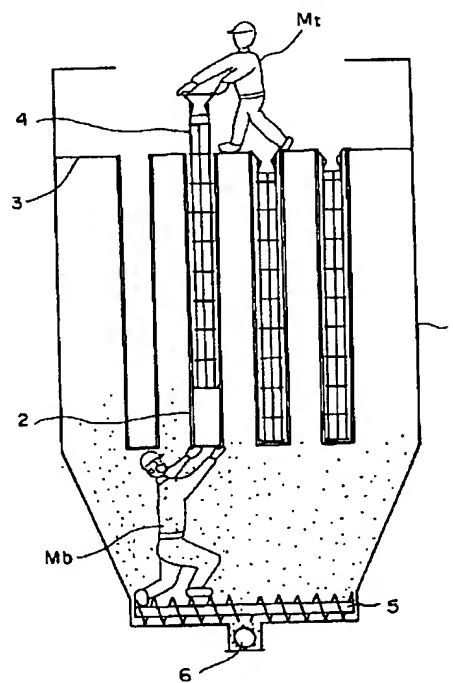
【図5】



【図6】



【図7】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、ケーシング内に複数のバグを備えたバグフィルタのバグ取付構造に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、バグフィルタは図6に示すように、ケーシング1内に複数の濾布製のバグ2が吊設されており、各バグ2は所定間隔でその上端が天井板3に固定され、バグ2内には濾布の変形を防止するためのケージ4が挿入されている。このようなバグフィルタでは、設置面積当たりの濾過面積を大きくするため、一般に数mの長さのバグ2を、濾布間隔が数十mm程度となるように配設している。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

しかし、このように長いバグ2が近接して上端だけで固定されているため、下端が隣接するバグ2と接触して磨耗し、バグ2は濾布本来の寿命よりはるかに早く破損する。また、バグ2を交換する際には、図7に示すように、ケーシング1上部でケージ4をバグ2内から拔出す作業者Mtの他に、粉塵の多い雰囲気の中、ケーシング1内に入りバグ2の下端部を押さえておく作業者Mbが必要であるため、作業能率が悪く安全衛生上問題があった。

【0004】

本考案は、バグフィルタにおける上記問題を解決するものであって、バグの磨耗による早期破損を防止して耐久性を向上させることができ、バグの交換を省力化し安全で能率よく行うことのできるバグフィルタのバグ取付構造を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本考案は、ケーシング内に複数のバグを吊設したバグフィルタにおいて、バグの底面に吊りフックを設けると共に、所定間隔で取付部を形成したセットビーム

をバグの下方に設け、セットビームの取付部に吊りフックを接続具で取付けることにより上記課題を解決している。

【0006】

【作用】

底面の吊りフックにより、セットビームの取付部に所定間隔で取付けられるため、バグが下端部で隣接のバグと接触して磨耗することはなく、早期の破損が防止される。また、バグの下端部が固定されるため、バグの交換の際、ケージを抜き出すために粉塵の多い雰囲気のカッシング内に入りバグの下端部を押さえておく作業者は不要となる。【0007】

【実施例】

図1は、本考案の一実施例であるパルスジェット式バグフィルタの構成を示す説明図、図2はバグの下端部の断面図、図3は吊りフックとセットビームの取付状態を示す正面図、図4は吊りフックとセットビームの取付状態を示す側面図、図5はバグの交換作業の説明図である。

【0008】

ここで、バグフィルタは、ケーシング1の下部に含じんガスの入口15、上部に処理ガスの出口16を備えており、ケーシング1内には、天井板3から複数の濾布製のバグ2が吊設されている。天井板3の上部には、補集したダストをバグ2から払い落とすためのパルスエア配管11が配置されている。ケーシング1の下部にはホッパー10が形成されており、その下端部に補集したダストを排出するためのスクリュウコンベヤ5とダストバルブ6が設けられている。

【0009】

各バグ2は、天井板3に所定間隔で設けられた開口部13にその上端が固定され、バグ2内には濾布の変形を防止するためのケージ4が挿入されている。バグ2の底面には吊りフック7が設けられている。バグ2の下方には、所定間隔で取付部12を形成したセットビーム9が配設されており、この取付部12に吊りフック7が接続具8で取付けられている。

【0010】

含じんガスは入口15からケーシング1内に入り、バグ2を通過して出口16

から系外に出る。このとき、バグ2の表面にダストが補集される。付着したダストはパルスエア配管11からのパルスジェット気流により払い落とされ、スクリュウコンベヤ5からダストバルブ6を経て系外に排出される。

このとき、バグ2は底面の吊りフック7により、セットビーム9の取付部12に所定間隔で取付けられているため、バグ2がガス流により揺動し下端部で隣接のバグ2と接触して磨耗するおそれはなく、早期の破損が防止され耐久性が向上する。また、バグ2の下端部が固定されるため、バグ2の交換の際、ケーシング1上部の作業者Mtのみでケーシング4をバグ2内から拔出することができ、他に、粉塵の多い雰囲気中のケーシング1内に入りバグ2の下端部を押さえておく作業者は不要となり、作業能率が向上し、安全衛生上の問題も生じない。ケーシング4を拔出した後、接続具8を外してバグ2を交換する。

【0011】

【考案の効果】

以上説明したように、本考案のバグフィルタのバグ取付構造により、バグの磨耗による早期破損を防止して耐久性を向上させることができ、バグの交換を省力化し安全で能率よく行うことができる。